

## ■ 目標設定

### 短期（2016～2019年度）

公共側ハード整備の終了  
最低限のコンテンツが揃う

#### 定性的目標

- ①魅力的な公共空間が生まれる
- ②そぞろ歩きに必要最低限のコンテンツが生まれる。
- ③公共空間の民間活用がされる
- ④エリアのハブ人材が現れる
- ⑤既存事業者の投資が生まれる
- ⑥定期イベントが開催される

#### 定量的目標

- ①旅館の総売り上げ：
- ②宿泊者数：23万人
- ③新規事業創出：5件
- ④住人の増加：
- ⑤雇用の拡大：20人
- ⑥メディア露出の広告価値換算

### 中期（2020～2022年度）

長門湯本のイメージが出来る  
ここにしかないコンテンツの創出

#### 定性的目標

- ①恩湯の経営が安定する
- ②長門湯本にしかない特徴的なコンテンツが生まれる
- ③長門湯本のイメージが生まれる
- ④オフシーズンのコンテンツ開発
- ⑤既存旅館の投資が生まれる
- ⑥空き家の居住用活用事業が始まる
- ⑦国内から人材が集まる

#### 定量的目標

- ①旅館の総売り上げ：
- ②宿泊者数：28万人
- ③新規事業創出：3件
- ④住人の増加：10世帯
- ⑤雇用の拡大：50人
- ⑥メディア露出の広告価値換算

### 長期（2023～2026年度）

海外からの観光客・長期滞在  
温泉街の目的地化

#### 定性的目標

- ①全国的な知名度を獲得し、近畿以東からの観光客が訪れる。
- ②温泉街での滞在そのものが観光の目的となる。
- ③国外から人材が集まる
- ④新規の民間投資が継続的に起きる。

#### 定量的目標

- ①旅館の総売り上げ：
- ②宿泊者数：33万人
- ③新規事業創出：3件
- ④住人の増加：10世帯
- ⑤雇用の拡大：50人
- ⑥メディア露出の広告価値換算